



1 国による抽出検査について

国では毎年、多面的機能支払の活動を実施した組織を抽出して検査を実施しています。この抽出検査は、平成30年度までに多面的機能支払に取り組んでいる組織がある全ての市町村において実施しているものです。

抽出検査は、農地維持、資源向上（共同）と、資源向上（長寿命化）に分けて行われ、資源向上（長寿命化）については、7月26日から5市町36活動組織が抽出され、順次検査が行なわれています。

なお、平成29年1月以降、農地維持、資源向上（共同）の抽出検査が予定されていることから、各活動組織においては、**下記に留意し**、再度、書類確認等をお願いします。

(1) **実際に活動した内容が、最新の活動計画書に記載**されていること。

水路更新した場所が活動計画書の位置と異なる、活動計画書に農道がないのに農道の活動が行われているなど、実施した活動が計画と異なっている場合があります。異なる場合は、市町村への「変更承認申請」や「変更届出」が必要となりますので、再度、活動計画書の内容を確認して下さい。

(2) 活動最終年度の組織（農地維持支払）にあっては、地域で話し合いを行い**「地域資源保全管理構想」を策定**し、年度末までに市町村に提出すること。

(3) 活動に際しては、必ず**「傷害保険」等に加入**すること。

(4) 農地維持支払及び資源向上支払（共同）の交付金で、資源向上（長寿命化）の活動を行なった場合※は、**節減した活動記録と節減額を証明できる書類を整備**すること。

※ 平成27年度から【長寿命化】の活動に取り組むことが出来るようになりましたが、毎年度の**交付金の3割以内で、かつ、日当等の節減額以内**となっておりますので留意して下さい。

2 災害発生時における活動について

台風10号による被害をはじめ、県内では今年も異常気象による災害が多発しているところです。小規模な被災箇所の復旧については、**農地維持支払の活動項目「異常気象時の対応」等で実施することが可能**です。詳しくは、最寄りの市町村又は県及び多面的機能支払推進協議会にご相談下さい。

【注意】異常気象後の見回りを行う場合は、十分に安全を確認した上で行ってください。

3 「交付金活動支援システム」について

平成26年度から開発・運用している「多面的機能支払交付金活動支援システム」については、より使い易いよう要望等を踏まえ今年度もシステム改修を行なっております。

年度内には、各活動組織へ配布する予定です。

名 称	改 修 内 容	備 考
金銭出納簿の分類別集計表示 (支出費目毎)	・各金銭出納簿の集計の最下部に分類別集計を追加	要望の反映
交付金・持越金・利子等入力の 文言変更及び枠追加	・「市町村からの入金」を「市町村からの入金（地域資源保全プランの策定：50万円/組織の広域化・体制強化：40万円）」に変更 ・「利子等」を「利子等（寄付金、傷害保険返還金を含む）」に変更 ・持越金の使用予定に記入例を明示	誤入力、入力漏れ防止
チェック表の備考欄の入力	・特定の活動項目には、「点検の結果、必要なし」、「異常気象なし」、「機能診断の結果、必要なし」が選択可能	入力の省力化
実施状況報告書の備考に活動日を自動表示	・特定の取組内容が実施された場合、実施日を自動で表示	誤入力、入力漏れ防止
実施状況報告書の備考欄に「農村環境保全活動の幅広い展開」の詳細を反映	・多面的機能の増進を図る活動の「農村環境保全活動の幅広い展開」の内訳で、「農村環境保全活動を1テーマ追加」を選択した場合、テーマを自動で表示	誤入力、入力漏れ防止
実施状況報告書に研修テーマを備考欄に反映	・実施日と実施テーマを自動で表示	入力の省力化
資源向上(長寿命化)の作業日報の活動内容区分に項目の追加	・活動内容区分の「完了確認」を追加	入力の省力化
活動記録のチェックの追加	・活動時間と人数が「0」の場合に警告メッセージを表示	誤入力、入力漏れ防止
実施状況報告書の行の増設、総会予定日欄の追加	・資源向上支払交付金の行増設 ・総会又は運営委員会の実施時期に総会予定日の入力欄を追加	誤入力、入力漏れ防止
実施状況報告書に啓発・普及活動の項目を備考に反映	・実施日と活動項目を自動で表示	入力の省力化

【お問い合わせ先】 岩手県多面的機能支払推進協議会事務局
 （岩手県土地改良事業団体連合会内）
 〒020-0866 岩手県盛岡市本宮 2-10-1
 TEL 019-631-3207 FAX 019-631-3260】
 担当者：竹田、小澤